

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	オペレーティングシステム論		
英文授業科目名	Operating Systems		
開講年度	2006年度	開講年次	3年次
開講学期	5学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-選択科目		
開講学科・専攻	情報工学科		
担当教官名	早川 栄一		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
hayakawa@cs.takushoku-u.ac.jp	http://www.cs.takushoku-u.ac.jp/os/

【主題および達成目標】
<p>(a) 主題：計算機システムの中核に位置するオペレーティングシステムについて、資源管理の基本方式および仮想化の手法について理解すること。</p> <p>(b) 達成目標：本講義を履修することにより、オペレーティングシステムが提供する基本的な概念、および資源管理の基本的な手法について理解し、実際のオペレーティングシステム上でのプログラミングや、計算機システムの構築、評価などにおける基本的なスキルを身につける。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
計算機アーキテクチャ関連の科目

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
プログラミング言語関連の科目

【教科書等】
<p>教科書：</p> <p>参考書：授業内容の理解に役立つ参考書がある場合、参考書も記述してください。</p>

電気通信大学 平成18年度シラバス

【授業内容とその進め方】

必須項目。

注1．授業内容と、授業の進め方は、学生がわかるようになっていれば、必ずしも各回ごとに分離して記述する必要はありません。

注2．下記の例2において、第N回は第N週を意味するものではありません。学生が回を追ってどのような内容が授業されるかがわかり、それを見て予習などができるようにすることが目的なので、学生が予め授業内容がわかるならば(例1)のように包括的な説明と主要なトピックスを示す方法もあります。

(例1)

(a) 授業内容

この授業では、～の説明からスタ

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

評価方法は、出席(小テストによる理解度の確認)、期末テスト、およびレポートの3点を合計により行う。

最低達成基準としては、次のとおり。オペレーティングシステム全体としての頻出概念(仮想化、局所性の原理など)および、タスク管理・メモリ管理・ファイル管理の3点についてのその概念および講義内で説明した事例について理解していること。

【オフィスアワー：授業相談】

質問などは電子メールで受け付けるので、遠慮なく質問・相談をしてください。

【学生へのメッセージ】

オペレーティングシステムは計算機システムの中核を担うソフトウェアで、その概念は他の部分にも応用が利く、非常に面白いものを数多く含んでいます。また、最近のオープンソースなどの流行によって、着目を浴びている分野でもあります。ぜひ楽しんで講義に参加してください。

【その他】